

独断

注目商品

REVIEW

ジャガイモの選別・収納を イノベーションする



価格はつど見積りもり。

ジャガイモ用選別機

固定置型選別機「RHコンビ」

■お問い合わせ
日本ニューホランド(株)
〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西13-4
☎011-221-2130 <http://www.nh-hft.co.jp/contents.html>

2009年1月号の本稿で「2畦エレベータ型ポテトハーベスタ」という機械を紹介した。今回は、そうした貯留設備を持たないトレーラー搬出タイプの収穫方式とのセットで使用する、選別に関する独・グリメ製固定置型選別機「RHコンビ」を取り上げたい。

この一連の機械体系によって従来のハーベスタによる圃場完結型収穫（圃場で収納まで行なうこと）に比べ、収穫、選別各段階での土砂分離能力が高く、土壤水分の状態に関係なく緩衝材となる土を存分に生かせるため、傷や打撲といった外部障害の発生が抑えられる。また、雨天日でも前日までに「掘りだめ」しておけば、屋内で選別・収納作業が進められるメリットもある。さらに、能率を引き上げることができ、トラクタで人件費を削減することも十分可能だ。

固定置型選別機とは、トレーラーで搬送されたジャガイモを受けて使用するものである。従来のハーベスタのロータリーバケット以降とも似通っているが、まずおおまかに説明すると、ホッパー型コンベアからローラー部へ運ばれたジャガイモは、土砂の除去と小イモの選別が行なわれる。その後、左右二手に分かれた選別テーブルで人手によって選別作業を実施し、左右どちらかにジャガイモを振り分けられるクロスコンベアからラインコンベアなどを通じてコンテナに収納させる。

次に、各箇所機能について具体的に触れる。連続作業を可能にする9.5mの「レシービングホッパー」は、それ自体に傾斜がついているが、深いポケットを備えたフロントコンベアでジャガイモを転がさず、均一に「クリーニングローラー」という箇所へ搬送する。このローラー部で土砂の除去と小イモの選別を行なうが、計14本のユニットから構成されるポリウレタン製のスパイラルローラーはジャガイモに対して優しく反応する。最初の7本で土砂に、次の7本で小イモにそれぞれ対処するが、油圧による間隙の調整で土砂の排出や需要企業に求められる規格の下限に柔軟に対応することができ、また、このローラー部は後方での人手による選別作業の進行状況に応じて無段階に回転速度を制御することも可能である。続く「プラット

ホーム」と呼ばれる選別台には左右に4人ずつ、計8人が立てるスペースが設けられ、左右二手に「選別テーブル」が分かれていることで、個々の立ち位置から腕を無理して伸ばすことなく範囲を決めて作業することができ、ちなみに、この選別テーブルには照明設備が標準装備で付いている。そして、選別されたジャガイモは「クロスコンベア」に運ばれ、左右どちらか任意の方向へ搬送後、ラインコンベアを経由して、別売の固定置型積込機、あるいはそのモジュールタイプを装着・使用することで落差を抑えてコンテナへジャガイモを収納することができる。

（永井佳史）